

ぶどうに色がついてきました



## 「こえよう みんなで！」

～「本気」そして「ぶどうの心」へ～



校長 三角浩司

8月24日、子どもたちの笑顔と挨拶が久しぶりに校内に広がりました。夏休みの頑張りや思い出をいっぱいもってきた子どもたちの姿からは、成長とたくましさを感じ嬉しくなりました。この夏休みも安全に過ごし、こうして始業式を迎えることができたのは、皆様のご支援ご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

始業式では、「超えろ みんなで」のお話をしました。これは、今行われているパラリンピックのスローガンです。限界や様々な障害をチーム一丸となって乗り越えようという思いが込められています。

私たちにもピッタリの言葉なので、このスローガンを紹介しながら、「1学期のみんなの頑張り」+「夏休みのエネルギー」→「2学期さらにパワーアップ」。「超えよう 1学期の自分たちの頑張り」、そして、「この感染症の状況もみんなで乗り越えよう」というものです。

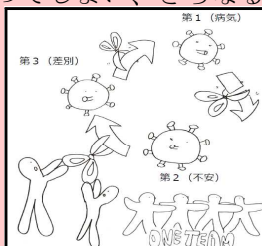


勇氣の木に実がつけました

感染症の状況はこれまでにない心配な様子が続いており、2学期開始から、改めて感染症予防対策を確認して学習や活動を進めています。また、八戸市教育委員会より9月1日からの感染症予防対策強化が出され、放課後や休みの過ごし方を「かしわっ子 2学期パワーアップ」として配付し、子どもたちに約束事などをお話ししましたので、ご覧ください。これからもできることを考え工夫して、子どもたちのよりよい成長や思い出につながるよう取り組んでまいります。何より、感染症に関わる情報が錯綜し、不安が高まり、詮索したり噂話になったりし、誹謗・中傷や差別にもつながることもあります。学校でも一つずつ確認しながら落ち着いて対応していきたいと思えます。これから保護者の皆様・地域の皆様と一緒に「こえよう みんなで！」で乗り越えていければと思います。2学期もこれまで同様、ご支援・ご協力をお願いいたします。

## &lt;改めて 感染症に負けないために！「コロナの3つの顔を知ろう！」&gt;

昨年ご紹介した日本赤十字社の「コロナの3つの顔を知ろう」。今、改めて見てみたいと思います。3つの感染症の顔とは、「病気」、「不安」、「嫌悪・差別・偏見」です。この3つはつながっていて、特に「嫌悪・偏見・差別」によって、本当の敵はウイルスなのに、敵が見えることや人にすり替わってしまい、さらなる感染を生むというものです。どうすればこの感染を防ぐことができるのか？



- (1) 「病気」対策…うがい・手洗い・咳エチケット・人混みを避ける等、自分だけでなく周りの人のためにも取り組む
- (2) 「不安」対策 不安に振りまわされず冷静に対応できるように  
①落ち着いて自分を見つめ直す気付き力 ②悪い情報ばかり目を向けず聞く力 ③自分を支え・安全や健康に必要なことを見極める力を高める
- (3) 「嫌悪・差別・偏見」対策 みんなそれぞれの場所で頑張ってます！不確かな情報を拡めたり、差別的な言動に同調したりせず、それぞれで頑張っている人たちへの労いと敬意を払うこと。

\*詳しくは、日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう～負のスパイラルを断ち切るために～」をご覧ください。